

# 資源循環型続モデルの工業団地に

## 今年度は6議案を審議



### 令和7年6月18日 第59期通常総会を開催

神奈川県内陸工業団地協同組合（組合企業数104社）の第59期通常総会が6月18日、団地会館大会議室で開かれた。総会には出席者77人で法定数を満たし、株式会社シンクスコーポレーションの長澤秀幸取締役が議長に選出された。

今回の総会では、①令和6年度事業報告並びに決算報告承認の件②令和7年度事業計画並びに予算案承認の件③経費の賦課及び徴収の方法決定の件④借入金の上乗限度額決定の件⑤役員報酬決定の件⑥任期満了に伴う役員改選の件の6議案が上程され全て承認された。

【各委員会の活動方針】  
《総務委員会》 財務収支状況を勘案した健全な組合運営の立案、実施に努めるとともにDX推進を図る《環境委員会》グリーンベルトの維持管理及び再整備の実施、道路名称版の修繕《安全衛生委員会》 危険予知訓練、職長教育などの研修会を、安全衛生自主パトロールにより情報等の共有を図る《防災・交通委員会》 行政機関と連携し諸問題解決に向けた活動や共同防災訓練を実施《特別委員会》 外国人労働者の日本語教育、団地の付加価値向上のため多角的な検討を進めるなどの活動方針を事業計画に含め承認された。

# だんち



# だより 第104号

2025年(令和7年)8月1日発行



愛川町が4丁目通りの歩道整備を進めています。

## 通常総会あいさつ

理事長 歳原博幸

皆様におかれましては、組合活動にご理解ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、最近の国内経済は、緩やかな回復基調でありますが、中小企業を取り巻く経済環境は、エネルギー・原材料の価格上昇、深刻化する人手不足を背景にした急激な賃上げなど、厳しい状況が続いています。

加えて、米関税政策への対応、世界各地の紛争、地元企業である産自自動車の経営再建など、不安材料は尽きません。



当組合におきましては、創立から60年近くが経過し、社屋や工場の建

### 事務局より

連日容赦ない猛暑が続いています。うだるような暑さに体力を奪われ、熱中症のニュースが後を絶ちません。

先日、製造現場を訪問しましたが、スポットクーラーや給水機とセットで塩分補給の飴が常備されていました。

暑さと戦いながらも、妥協せず仕事に向き合う姿に、私たちも熱量がぐっと高まりました。

熱中症の予兆として、頭痛・めまい・吐き気・異常な発汗などの症状を周知し、「無理してでも終わらせる」ではなく、「体調が最優先」が、安全を守る鍵です。特に、職長やリーダーが率先して休憩を促したり、声かけで現場の意識改革をお願いします。

事務局一同、組合委員企業の皆様のご繁栄のために努めてまいります。



## 道路名称板を きれいにしています

道路名称板は1986年から1997年に設置され、設置後30～40年近く経過していますので、美観を保つために修繕をはじめています。

## DX推進研究会について

昨年11月に開催した、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進研修会受講者を中心にデジタル技術の有効な利用方法や業務改善などの事例研究、調査・情報交換を行う「DX推進研究会」を設立し、外部講師や団地内企業が持つDXに関するさまざまなリソースを活用し、団地内のDX推進に取り組んでいます。

写真は3月14日に開催した、NTT東日本 e-City Labo視察研修時です。なお、今年度は11月6日(木)に「製造分野におけるDX推進」の研修会を予定しております。

